

クラウドファンディングへのご支援 ありがとうございました

高校生ボランティア・アワード2019の開催にあたり、
90日間、1,000名以上の皆様からご支援をいただき、無事に開催することができました。
心より御礼申し上げます。

高校生ボランティア・アワード クラウドファンディング寄附者 ご芳名(希望者のみ)

寒北斗の母 様 林 順子 様 阿部玲子 様 赤穂のじーじ 様
石関政美 様 勇不動産コンサルタント内藤 様 お笑い袋 山本知佐子 様
長江真理子 様 西野(杵築市) 様 原田敬三 様 yoshimi 様

後 援



内閣府



神奈川県

神奈川県教育委員会

神奈川県社会福祉協議会



協 賛



特別応援



協 力



君の志を応援します!

高校生 ボランティア・アワード 2019



大会報告サマリー

THE LION STANDING AGAINST THE WIND FUND FOUNDATION SINCE 2015





高校生 VOLUNTEER AWARD 2019 PHOTO ALBUM

高校生の皆さんへ

今年も全国でボランティア活動を行っている高校生達が一堂に会する「高校生ボランティア・アワード2019」がやってきました。志を同じくする高校生達の集いには沢山の学びや希望があります。

ささやかでも必死懸命に頑張る高校生。驚くほど力強く、アイデアに満ちた活動。社会的弱者の視線に立つという姿勢。ここに集うみんなが「誰かの役に立ちたい」という温かな志に満ちています。ボランティア同士の共感が生まれ、時には切磋琢磨するきっかけになり、友情に変わります。この国の未来を良いものにするためには、彼らのような「志」が必要だという私たちの思いは、回を重ねるほど強くなります。そして高校生の明るく、強い活動に勇気を頂いて、大会を主催する我々『風に立つライオン基金』も、もっと大きく、もっと強くなりたいという思いを強くします。

今年も出会えて幸せです。心を合わせてがんばりましょう。

(高校生ボランティア・アワード2019 大会パンフレットより)

公益財団法人
風に立つライオン基金
設立者・理事

さだまさし



長崎市出身。シンガー・ソングライター、小説家。'73年フォークデュオ・グレープとしてデビュー。'76年ソロ・シンガーとして活動を開始。「関白宣言」「北の国から」など数々のヒット曲を生み出す。ソロデビュー以来、通算4300回を超えるコンサートのかたわら、小説家としても「解夏」「風に立つライオン」などを発表。多くの作品が映画化、テレビドラマ化されている。またNHK「今夜も生でさだまさし」のパーソナリティとしても人気を博している。2015年8月、風に立つライオン基金を設立(2017年7月、公益法人として認定)。国内外で奉仕活動をする医療従事者や教育関係者などへの助成事業や、大規模被災地への支援事業を行っている。また、「ささやかで偉大な」活動を顕彰し、継続と発展を願う顕彰事業「高校生ボランティア・アワード」は今年で4回目を迎える。

開会式

さだまさし



僕は、毎年、皆さんとお目に掛かるたびに勇気をもらっています。去年の彼らが、どんなふうに成長しているのか。初めて会う高校生たちとどんな話ができるのか。とても楽しみです

大会委員長のさだまさしからの挨拶のあと、今年も豪華な応援団の皆さんがステージに登場、高校生たちにメッセージを送りました。

4回目となった「高校生ボランティア・アワード2019」は、7月29日・30日の2日間、パシフィコ横浜・展示ホールAで開催されました。134校のエントリーからブース発表校として100団体が選ばれ、96ブースに分かれて日頃の活動を発表しました。昨年と同じく、受付を済ませた順に記念撮影を行い、その後、それぞれ発表の準備に取り掛かりました。



特別応援団の佐渡裕さん、新羅慎二さん、テツandトモのお二人、ももいろクローバーZの皆さん、司会の元文化放送・寺島尚正アナウンサーとフリーアナウンサーの小林麻耶さん、お笑い芸人の松尾鯉太郎さん、さだまさしが全校の生徒さんと記念撮影。準備を終えたところで、ステージで開会式が行われました。

ティーンエイジャーこそが、日本を幸せにできる大きな原動力だと思っています

私たちに、みんなの思いを伝えてください。それをいっぱい受け取りたいと思います



ももいろクローバーZ

佐渡 裕

みんなの目がキラキラしてね、素晴らしい活動内容に感動しております



テツandトモ



新羅慎二

皆さんの地域のこと、何をやっているのかということ、いろいろ教えてください!

参加校を代表して今年も地元の横浜清風高校がシウマイの話を変えながら二人でユニークな開会宣言をしました。

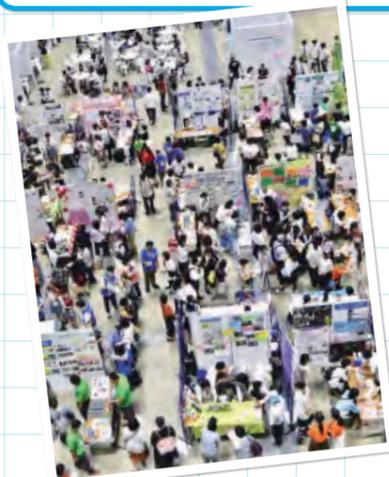


昨夏まで、鹿児島実業高等学校の応援団長を務めていた松尾鯉太郎さんによるエールで開会式は終了。



ブース発表校

発表ブースでは各学校が日頃の活動の写真、図面や模型の展示、実演など来場者にプレゼンをしました。どのブースも様々な工夫を凝らして自分たちの発表を最大限アピールしようと活気に満ちていました。また、他校のブースをお互いに訪問しながら交流を深めたり、ボランティア活動をする高校生同士、大変有意義な時間となりました。発表の様子はTOKYO MXのテレビ視聴アプリ「エムキャス」で生配信されました。



北海道 A-3 小樽双葉高等学校 奉仕活動部



人との触れ合いや手助けとなるような活動が地域の方々と密接につながり、最終的には世界に貢献できる活動となっている。

青森 A-6 青森県立五所川原農林高等学校 野菜研究室



私たちは古民家で認知症の人が自分らしく農作業できる認知症カフェを運営しています。今年度は利用者から身近に感じられるような取り組みをしました。

宮城 A-9 宮城県名取北高等学校 奉仕活動部



①地域とともに歩む活動 ②復興・防災に向けた活動 ③世界につながる活動について様々な取組みを行っています。

北海道 A-1 北海道士幌高等学校 環境専攻班・土壌環境講座/ボランティアクラブ



環境専攻班・土壌環境講座
士幌町の原産生であるカンワ林の保全を目指して、カンワ林の現状調査や保全に向けての各種試験の実施、カンワ林の保全啓発活動を実施しています。
ボランティアクラブ
「閉校する小学校の子ども達の“今”を見守り、支えたい」との想いから始めた施設訪問と交流活動。

北海道 A-4 北海道滝川高等学校 放送局



高校生の視点から取材を行い、脳死や臓器移植が他人事ではないことや、提供することだけが重要ではないことを、テレビ番組を通して伝えたい。

宮城 A-7 宮城県農業高等学校 科学部復興プロジェクトチーム



東日本大震災で津波被害を受けた人々の心の復興と地域緑化のための復興の桜を植えています。

秋田 A-10 秋田県立十和田高等学校 ボランティア部



サタプロ(高校生体験プログラム)は主に小学生を対象にしたイベントをプロデュースし、企画会議を経て、本番を迎える。昨年度はお子様ランチ・スノーシュー作りを開催。

北海道 A-2 北海道三笠高等学校 地域連携部



地域に対する深い愛情と感謝の心を持ち、三笠市を活性化させることを目指し、地域のボランティア活動や地域をPRできる商品開発などを行っています。

青森 A-5 青森県立名久井農業高等学校 5代目 TEAM PINE / Bubble Boys & Treasure Hunters



5代目 TEAM PINE
青森県南部町は、農業従事者の平均年齢が60歳を超えています。そこで、私達は、農家を農作業で助ける活動を行っています。
Bubble Boys & Treasure Hunters
植物を活用した水質浄化と食糧生産を同時に行うシステム、農業飛散による健康被害を抑制する泡散布技術などを開発し、広く世界に情報を発信している。

宮城 A-8 宮城県築館高等学校 人のためプロジェクト



「人のためプロジェクト」委員会を中心に、生徒自ら活動内容を提案し、「芝桜プロジェクト」「復興応援歌の作成」「地域防災」など、全校生徒で活動の幅を広げている。

秋田 A-11 秋田県立大曲農業高等学校 生物工学部



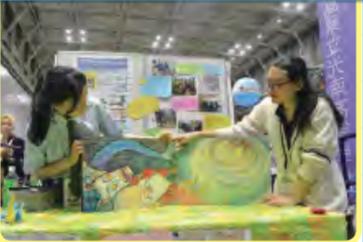
開発のために酸性化した田沢湖を中性にする研究を行い、持続可能な開発とは何かを発表し、豊かな生活を維持した地域の活性化のための活動をしている。

山形 A-12 山形県立山形工業高等学校 土木・化学研究会 (旧環境システム研究会)



土木・化学研究会のメンバーを中心に、地球温暖化防止活動や科学実験、科学リサイクル工作を子どもたちに指導するボランティアを行っています。

福島 B-3 福島県立郡山萌世高等学校 読み聞かせボランティア



地域の保育園や高齢者施設を毎月訪問し、パネルシアター・紙芝居の上演や絵本の読み聞かせを行っている。

茨城 B-6 茨城キリスト教学園高等学校 インターアクトクラブ



学校敷地内に併設されているこども園の訪問や老人ホームの訪問を定期的に行い、施設の現状を学ぶと共に活動の補助をする。

栃木 B-8 栃木県立栃木農業高等学校 どのう道普請プロジェクト班



多様な主体を巻き込みながら、環境教育や減災防災・地域インフラ整備など市民協働活動(道普請などのイベント・ワークショップ)を企画・実施している。



山形 B-1 山形県立置賜農業高等学校 豆ガールズプロジェクト



川西町の伝統野菜である紅大豆を使った食育活動や食文化の伝承活動、商品開発やPR活動を行っている。

福島 B-4 福島県立白河実業高等学校 機械科課題研究班



高校3年間、お世話になった地域への感謝の気持ちを、機械科で学んだものづくりで表したいと考え、地域の方々の生の声を聴き、ゴミ回収ボックスを製作してきました。

栃木 B-7 栃木県立鹿沼南高等学校 課題研究野菜班



農業女子を美しくするための、農作業に特化したこれまでにない地元特産品(鹿沼土)。使う人と環境と地元により新規洗剤を開発し、提供する。

栃木 B-9 栃木県立学悠館高等学校 JRC部



防災講座等を東日本大震災発災前より継続して実施し、地域の方とともに考え、学んでいる。校外でも救急法や防災に関する出前講座を実施している。

福島 B-2 福島県立光南高等学校 矢吹の町を支え隊



光南高校福祉介護系列の生徒と矢吹町まちづくり推進課 社会福祉協議会が連携し、町民生活に可能なボランティア活動ができるかを探索しています。

福島 B-5 福島県立平工業高等学校 生徒会



私達は、「もったいない!」という精神から、捨てればゴミになってしまう物をリサイクルし、社会・国際貢献に繋がるような活動をしています。



栃木 B-10 栃木県立真岡女子高等学校 JRC部



地域での多様な支援・交流活動、障害者理解啓発イベントの企画開催と冊子の制作配布を展開。石巻市の復興住宅の方とはハンドケアと手紙や毛糸贈呈で交流継続。

群馬 B-11 群馬県立利根実業高等学校 生物資源研究部



群馬県北部地域では、イノシシやシカによる農業や稀少植物の被害が深刻です。私達は「野生動物からの被害を無くす」ボランティア活動をしています。



群馬 B-12 ぐんま国際アカデミー中高等部
女子高生へアドネーション同好会



全国から頭髪の寄付を募り、アートネイチャーと協力して小児がんの治療過程で頭髪に悩んでいる子ども達に医療用ウィッグを無償で提供している。

群馬 C-1 群馬県立館林高等学校
JRC部

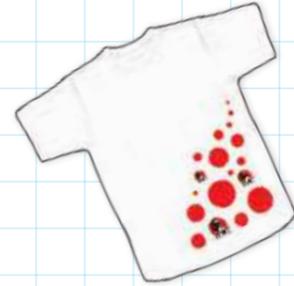


子どもの笑顔を中心に考えて、子どもや障害児、児童館、フードバンクでボランティアを行っている。館林市のイベントのボランティアスタッフとしても活動している。

埼玉 C-2 川口市立高等学校
ボランティア部



川口市の社会福祉やNPO、ユニセフ、他社会奉仕機関との連携をとり世界に目を向けた活動をしてあります。



埼玉 C-5 埼玉県立ふじみ野高等学校
生徒会執行部



農村の魅力都市部の若者たちに知ってもらうために、現地に行きいろいろな体験や現地の方々との話し合いを通じて、情報を発信しています。

千葉 C-8 千葉県立八千代西高等学校
図書委員会



本と人をつなげるために、学校間の生徒や先生方だけでなく、地域と施設、書店や公共図書館を繋ぐ活動を行っています。

千葉 C-11 千葉県立津田沼高等学校
理科部生物班



本校はラムサール条約登録湿地である谷津干潟に隣接しており、その自然環境を保全し、ワズユース（賢明な利用）を考える取り組みを行っています。



東京都 C-12 八王子学園八王子高等学校
ボランティア部・車人形同好会



定期的に行っている点訳ボランティア・施設訪問ボランティア・地域清掃・街頭募金・施設受け入れボランティア、新しく立ち上げた献血ボランティア、地域の要請を受けて随時行ってお祭りお手伝いなど、いろんなことに挑戦し続けるボランティア部です。

東京都 D-5 東京都立国際高等学校
国際協力ボランティア同好会



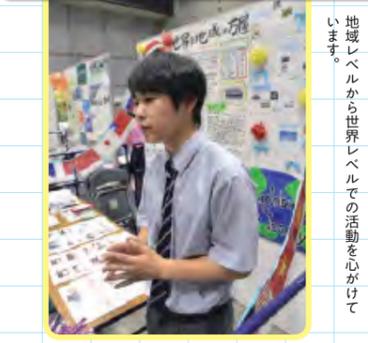
今年4月から「児童館プロジェクト」を発足しました。放課後、近所の児童館に出向いて、国際生が得意な英語を生かした特別クラスを展開しています。

東京都 D-8 白百合学園高等学校
ボランティア委員会+小百合会



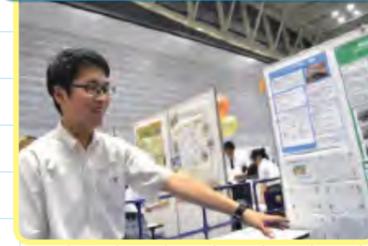
被災地訪問プロジェクトの、「ゆりこころ」をはじめ、さまざまなボランティア活動を通して自分のできる小さなことを積み重ねています。

神奈川県 D-10 横浜清風高等学校
インターアクトクラブ



地域レベルから世界レベルでの活動を心がけています。

東京都 D-1 獨協中学・高等学校
緑のネットワーク委員会



地域の障害者支援施設内のラウンジと親子交流の場になっている「子育て広場」にオリジナルの箱ヒョトブを高校生達が設置した。

東京都 D-3 広尾学園高等学校
インターナショナルコース翻訳ボランティア



NPO 法人 Asuka Academy のウェブサイトを通じて、米国大学 (MIT や Yale 大学) の講義を和訳したものを学習者に提供しています。

東京都 D-6 実践学園中学・高等学校
環境プロジェクト



私たちは屋上ビオトープ「実践の森」を活かして環境に与える影響を研究したり、ペットボトルキャップ回収活動のようなエコ活動を実施してきました。



神奈川県 D-11 慶應義塾湘南藤沢高等部
環境プロジェクト



小学校における環境保全をテーマとした出前授業や、社会人とのディスカッション等を通して、幅広い年代の人と共に環境への理解を深めています。

東京都 D-2 東京都立国立高等学校
ボランティア同好会



高校のある国立市の郷土カルタを通して、地域の人々との繋がりを活性化させるお手伝いをしていきます。またその企画にも携わっています。

東京都 D-4 東京学芸大学附属国際中等教育学校
ども×ども～高校生による子ども食堂での無料学習支援～



高校生が、子ども食堂で月合計4回、小学生が持ち寄り宿題などの勉強のサポートをしている。

東京都 D-7 東京都立杉並総合高等学校
杉組 team F



インドネシアのスラマン（中部 JAVA 州）のキリスト教系社会福祉施設（孤児院）でのボランティア活動。2015 年以来 10 人程度が毎年参加。その後も多くの参加者が再訪問したり、現地関係者が来日する際にも交流を続けている。

神奈川県 D-9 神奈川県立中央農業高等学校
養鶏部



探飼鶏とアヒルを活用して地域資源を利用した農法や飼養管理方法を研究し、環境だけでなく人にとっても持続可能であることを目指し活動を行っています。



高校生ボランティア・アワード2019
ブース発表校

千葉 C-9 千葉県立国府台高等学校
生物部



江戸川などの自然豊かな場所に近い立地を生かした、様々な生物の保全活動を行っています。その地本来の自然環境に合わせた保全活動を積極的に行っています。

千葉 C-10 千葉県立松戸南高等学校
科学研究部 Team Quad-E



絶滅危惧ⅠA 類のガシャモクや野生絶滅種のフラスコモ属を手賀沼に復活させるためのゲージを開発し、手賀沼環境保全協議会などと協力し運用している。



神奈川 D-12 桐蔭学園高等学校
インターアクトクラブ



社会奉仕・国際理解を目標に募金活動やフェアトレード品販売、病院でのコンサートの運営、身障者への介助活動を行っています。



神奈川 E-3 神奈川県立横浜南陵高等学校
社会福祉部



例年、小学校の学童保育や老人ホーム、福祉施設に行っています。合唱コンクールや学校説明会での手話ソングの発表などを行っています。鳥取県で行われた高校生手話パフォーマンス甲子園や神奈川県ろうあ者大会などの全国大会にも参加しました。

福井 E-6 福井県立足羽高等学校
JRC部



2016年より視覚障害者支援活動として福井駅ホーム等の触る地図製作、福井国体前に全国に発送、2017年より海岸漂着ごみ調査等。

岐阜 E-9 岐阜県立加茂農林高等学校
堂上蜂屋柿 Activation Pro



柿渋の需要は年々減少しており、日本の伝統文化でもある柿渋が消えていく恐れがあるのが現状。そこで、柿渋の需要を高めるためにはどうすれば良いのかを考えて日々活動を続けています。

神奈川 E-1 日本女子大学附属高等学校
人形劇団ペロッコ



長期休暇を利用して、保育園や高齢者施設、障がい者施設を訪問し、人形劇の公演と交流をしています。



富山 E-4 富山国際大学付属高等学校
メディア・テクノロジー部



福祉提供の意思表示率の向上を目標に、人工知能や拡張現実などのテクノロジーを活用し、移植医療の啓発活動の年間継続している。人体や生命、移植医療を親子で学べる場や学習教材を提供しています。

山梨 E-7 身延山高等学校
手話コミュニケーション部



主な活動①保幼小中高、介護施設、教育委員会行事等への手話教室(年10回)②東北復興地での奉仕活動(炊き出しや清掃、豊との交流、手話教室、募金贈呈)③県立ろう学校高等部との交流(年4回)

岐阜 E-10 岐阜県立岐山高等学校
生物部魚班



長良川の外来魚を減らし、「清流」長良川と胸を張って誇れるような環境を、地域ぐるみの活動を通して作り上げていく。

高校生ボランティア・アワード2019

ブース発表校

神奈川 E-2 鎌倉学園中学校・高等学校
インターアクト部



由比ガ浜のクキ除去や海岸線のスリッパ防止を中心に、ZOの盛んなカマクラで様々な団体と交流しています!

福井 E-5 福井県立鯖江高等学校
JRC部



緑化運動を中心に、子ども虐待防止や福祉・防災・国際理解ボランティア活動を行っている。昨年度は、「花いっぱい運動」に参加し、福井県「はびねすなわらうコンクール」で審査員特別賞、鯖江市「花」とよまちづくりコンクールで街路樹の部「市長賞」と小さめ花壇の部「優秀賞」を受賞。

長野 E-8 長野県松川高等学校
ボランティア部



東日本大震災後の人々の「日常の平和」に寄り添う交流を継続。また、「講義開始平和記念館高校生展示ガイド」を通して平成から令和を繋ぐ「平和」の種まきを行っている。

静岡 E-11 静岡県立駿河総合高等学校
M-SIPP



商業科目「課題研究」の時間をおとすの0.5分について学び「地域の方との交流をとって、特にフェアトレードやエンカルについて発信している。

静岡 E-12 静岡県立富岳館高等学校
富岳特産物研究



授業で学んだ専門的知識・技術及び、ボランティアアスをヒリットを活かし、地域特産物に目を向け、大学や農家、企業等と連携しながら地域を活性化させる。

愛知 F-3 愛知県立木曾川高等学校
総合実務部



イタセンバラの生息地であるワンドの保全活動や認知度を高めるためのアンケート調査や広報活動、密猟を防ぐためのパトロール活動等を行っている。

三重 F-6 セントヨゼフ女子学園高等学校
学園会



世界中の子供達の教育支援を目的とした募金活動の1つで、参加者は決められた10キロのコースを歩いた後、その行為に対して自分で探したスポンサーの方から約束した金額を募金するものです。

大阪府 F-9 大阪府立堺工科高等学校 定時制の課程
ボランティア活動部/生徒会活動部



ボランティア活動部
「東日本大震災」以来、授業で制作した「包丁」と「線香」及び「義援金」を被災地訪問して、直接手渡している。今までに寄贈した「包丁」の研ぎ直しのための訪問もしている。
生徒会活動部
小学生が各職業にあったユニフォームを着用し、私たち高校生のサポートのもと、職業体験をして、「修了証」と「お給料」をもらい、買い物ができるというプロジェクトです。

静岡 F-1 浜松学芸中学校・高等学校
ボランティア部



地域に根ざした活動として毎月の定期的活動や様々な事業所のイベント運営の他、24時間テレビ等の募金活動や海外支援の活動もしている。

愛知 F-4 中部大学春日丘高等学校
インターアクトクラブ



障がい者施設での療育活動、工作教室、外出支援、コミュニケーションボランティアなど。

滋賀 F-7 滋賀県立八日市南高等学校
地域支援活動同好会



2012年度から岩手・宮城・福島でのボランティア活動をしています。その活動から、「命の大切さ」を学び、「震災を風化させない」取り組み「人と人の繋がり」「人と地域の繋がり」を大切に活動をしています。



大阪府 F-10 大阪府立枚岡樟風高等学校
瓢箪山戦隊ショウフウジャー (地域貢献部)



「瓢箪山戦隊ショウフウジャー」として、福祉施設、教育施設、町おこしイベントで地域を笑顔にするため日々活動中! 地元警察と協力して防犯活動も!

愛知 F-2 愛知県立岡崎東高等学校
JRC部



ニーズを大切に、「地域独居老人宅訪問」「児童・障害児・高齢者施設」「募金活動」など「今」必要なボランティア活動に主体的に取り組んでいます。

愛知 F-5 桜花学園高等学校
インターアクトクラブ



「あわせ届け隊」として施設を訪問し、ミュージックヘルプや手遊びを通して、積極的な交流を図っています。



京都府 F-8 京都府立綾部高等学校
分析化学部



私たちは、由良川レンジャーとして、化学的・生物的水質調査、清掃活動、環境出前授業など由良川を守るため様々な活動に積極的に取り組んでいます。

兵庫 F-11 神戸市立科学技術高等学校
空飛ぶ車いす研究会



病院や施設・個人の方から使われなくなった車いすを提供していただき洗浄・分解・整備などを行い海外で車いすを必要とする人へ寄贈しています。



兵庫 F-12 兵庫県立神崎高等学校 ボランティア部



地域の運動会や祭り、老人ホームでの活動など地域に根差した活動とエコキャップ回収、募金活動などを実施している。

兵庫 G-1 兵庫県立松陽高等学校 災害食で地域活性化 Project team



兵庫県教育委員会から防災教育推進校の指定を受け、商業科と防災教育を繋ぎ、商業科と地元企業の産学連携で災害食（パン）の缶詰の商品開発をしました。

広島 H-1 広島市立広島工業高等学校 広島市エササイエンス工房



本校生徒が習得した技能・技術を活用し、教育や社会に貢献するものづくりプロジェクト「広島市エササイエンス工房」に取り組んでいます。

高校生ボランティア・アワード2019
ブース発表校

山口 H-3 宇部フロンティア大学附属香川高等学校 ユネスコ部



反射板付き安全ポシェットを製作し、警察署内で販売して頂いたり、チャリティーバザーで販売したりしています。売上金はユネスコ協会へ寄付しています。

兵庫 G-2 兵庫県立東播磨高等学校 生徒会執行部



遺子の方々が大学へ行くことができるように基金のサポートをする募金活動や、大阪地震で復興のための募金活動、稲美町の国際交流会などです。

兵庫 G-3 兵庫県立兵庫高等学校 創造科学科3期生



創造科学科は8班に分かれ、長田区にあふれる少子高齢化や在日ベトナム人、地場産業の衰退といった問題に取り組んでいる。

兵庫 G-4 兵庫県立神戸商業高等学校 理科研究部



毎月1回の漂着ゴミを回収するだけでなく、回収した漂着ペットボトルにより海洋ゴミの漂流ルートを推定して研究会などで積極的に発表しています。



広島 H-2 広島市立大手町商業高等学校 生徒会



校訓である「思いやりと豊かな心」をテーマに地域貢献を中心にボランティア活動を行っています。

徳島 H-6 徳島県立徳島商業高等学校 校内模擬会社 COMCOM



カンパニアの首脳で社会問題となっている交通渋滞解消を自招し、現地調査やシミュレーションを行い、公共交通や教育省など政策提言を行った。

兵庫 G-5 兵庫県立洲本実業高等学校 ソフトエネルギー研究ユニット



風車街路灯を寄贈するボランティア活動

兵庫 G-6 神戸龍谷高等学校 JVC



ネパールの子どもたちのために募金活動・文具を集めて贈る



山口 H-4 山口県立柳井商工高等学校 まちづくりプロジェクトチーム



柳井町の伝統工芸柳井織の普及活動・伝統継承を目的に、商工生が地元小学校で出張授業を続けている。また地域イベント、高齢者施設へ伺っている。

徳島 H-5 徳島県立阿南光高等学校/徳島県立小松島高等学校勝浦校/徳島県立小松島高等学校/徳島県立徳島北高等学校 緑のリサイクルソーシャルエコプロジェクトチーム



私たちは、地域との絆を深め地域への貢献を目的に「未来の地球のために、私たちができること」を活動テーマに小松島西高校勝浦校・小松島高校・阿南光高校・徳島北高校で環境活動に取り組む有志の高校生の団体として地球温暖化防止活動に取り組んでいます。

福岡 H-9 福岡県立水産高等学校 アクアライフ科



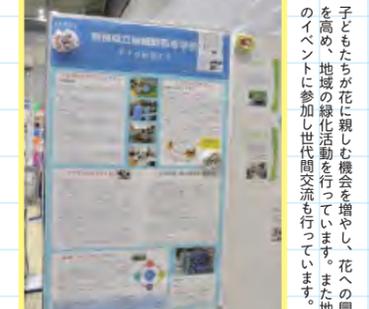
私たちは、「ぎょしょく活動」を行っています。ぎょしょく活動とは、地元の魚と環境について多くの人に興味を深めてもらう活動です。

奈良 G-7 奈良育英高等学校 生徒会 & 執行委員会・有志 with 写真部



①東日本や熊本・九州北部などの被災地支援のための文化祭で物産展を開催。
②地元愛を大切に「奈良燈花会（二〇日圓）」のボランティアに参加。

奈良 G-8 奈良県立磯城野高等学校 Flowers



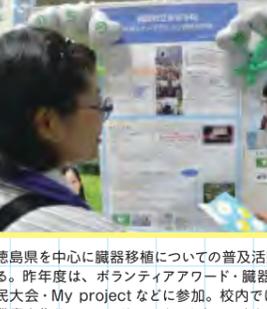
子どもたちが花に親しむ機会を増やし、花への興味を高め、地域の緑化活動を行っています。また地域のイベントに参加し世代間交流も行っています。

鳥根 G-9 鳥根県立平田高等学校 JRC部



緊急時にすべての人が命を守るように、危機感をもちて知識とノウハウを身につけておきたいと願い、オリジナルの「体験型」を企画しています。

徳島 H-7 徳島市立高等学校 市高ドナーアクション啓発委員会



徳島県を中心に臓器移植についての普及活動を行っている。昨年度は、ボランティアアワード・臓器移植推進国民大会・My projectなどに参加。校内では、彼らが授業を作り、ファシリテーターとなって1クラスで授業を実施。本年度は、2クラスでの授業を6月に予定している。

高知 H-8 高知県立伊野商業高等学校 商業技術部内 和紙研究会



地域の伝統的な工芸品である土佐和紙を知り、実際に漉くことを通じて、地域文化を知り、人々とのつながり、将来地域の文化を担うために必要な力を育む活動をしています。



岡山 G-10 金光学園高等学校/岡山龍谷高等学校/鹿島朝日高等学校 白石踊 800年の伝統を受け継ぐ会



継承者不足に直面する白石踊の伝統を守ろうと高校生が自主的に始めた活動を地域全体をも巻き込んで、若者世代に伝統文化を継承する潮流が生まれた。

岡山 G-11 岡山県立倉敷古城池高等学校 ワッショイ!とーかーず



高度成長期の賑わいを失った地元へ活気を取り戻す各方面の活動をしており、特に笑顔あふれる地域コミュニティを求めてこども食堂の手伝いに注力する。

岡山 G-12 山陽女子高等学校 地歴部



瀬戸内海のお底ごみ、島嶼部の漂着ごみ問題の解決に向けて回収活動と啓発活動に取り組んでいる。

福岡 H-10 福岡常葉高等学校 ボランティア部



地域交流会を中心とした活動を行っており、昨年度は地域の障害がい者施設の方々に学校に招き、吹奏楽部と一緒に出し物をした。玄関での出入りの補助など楽しんでもらえるようにはなしたし、不自由がないように配慮しながら活動した。

佐賀 H-11 佐賀県立佐賀商業高等学校 さが学美舎



「今あるもの」に付加価値を「」をテーマに、環境マインド発信と佐賀発バイオマス普及・発展のため、市や企業と連携し「佐賀発持続可能な低炭素循環型街づくり」に参画しています。

沖縄 H-12 沖縄県立中部農林高等学校 PSP 環境土木チーム



ペーパーラッシュは産業廃棄物として処理され、利用方法の確立が急務である。ペーパーラッシュで癒やしの空間づくりに挑戦する。

レセプション

1日目のブース発表終了後に、参加高校生限定のレセプションパーティを開催しました。全国各地から集った、様々な活動をしている学校同士、交流し親睦を深めてもらうためのプログラムです。応援団の皆さんはパフォーマンスで盛り上げてくださいました。

ももいろクローバーZの皆さんによる「走れ！」で一気に熱が上がり、新羅慎二さんは湘南乃風の大ヒットナンバー「純恋歌」を身延山高校の手話コミュニケーション部とのコラボで披露。客席も一体となって手話で歌いました。



テツ and トモのお二人が「なんだろう」とアゴに脚立を載せる芸で更に盛り上げたあと、さだまさしによる「たくさんのしあわせ」を会場全員で歌い踊りました。



最後に全員で声（こゑ）を上げて明日への士気を高め、一日目が終了しました。



みんなの VOICE

参加高校生 や 一般の皆様 の声をちょっとだけご紹介いたします！

仲間が増えました！ありがとうございます

自分のブース紹介の時うまく話せなかったの、そこを直したいと思った

参加して記憶に残ったこと：説明を聴いてくださった方々の言葉

なんか感動したパワーを得た

とても疲れたが充実な2日間だった！ありがとう見に来てくれたみなさん

ありがとう、そのエネルギーを秘めた人生を歩んでください

楽しく笑顔になれたの一言につきます

しっかり応援していますよ

1年に2回行ってもよいと思います

話を聞いてくださる皆さまがとても優しい方ばかりだったこと

全国からたくさんの高校が来ておもしろい活動をたくさん見れました

いろいろな高校が頑張っていて、もっともっと高校生が輝いていこうって思いました

高校生ボランティア全国へ広がれ！

小林麻耶さんかわかった

レセプション楽しみました！

こんなに大勢の人に会ってもらったのは初めてなので、すごく嬉しいです

毎年楽しいイベントになりましたありがとう

高校生のパワーに期待！！

高校はもう卒業なのでOB/OGとして参加出来たらと思う

最高の気分だ自分の世界が広がった

全く話したことのない人とも「ボランティア」という共通点だけで集まったのに話が弾んで楽しく面白かった

貴重な体験ができましたいつかボランティアとして参加したいです

寺島さんのファンです

疲れた

たくさんの人と話できた特に新羅慎二さんは印象に残っている

2回目の参加でしたが去年よりも楽しかったです

よい思い出になりました

みんなすごく努力している

風に立つライオン♪が聞きたいです

いろいろな年齢層の方が来るので、自分たちの考えプラス「なら、こうすればいいんじゃない？」などの意見もあって、いろんな発想だったり、自分達のコミュニケーション能力も高められました

(テツandトモ) 応援ゲストが真剣にブースを回ってくださって嬉しかった。ボランティアを応援してくださっているという気持ちが知れて良かった。

明日からの元気をもらったよ

タンシー (^-^) さだまさしさん優しい

ブース発表長かった

ももクロに会えて感動！

来年は高校生ボランティア・アワードのSTAFFとして参加したいです

各ブースのお話とても勉強になりました！！ありがとう

もっと一般の人に知ってほしい

ボランティア・アワードをずっと応援し続けます

まわりの高校生みんな立派すぎ尊敬

みんなにいいね！すばらしい！！

プレゼン難しかったです

ファンズちゃんかわかった

さまざまな命の現場で考えること

2日目の午前中に、パネリストを迎えてシンポジウムが開かれました。

高校生ボランティア・アワードの主要なプログラムとして、パネリストと参加高校生が意見交換を行う場です。

今年のパネリストは、国境なき医師団日本会長・加藤寛幸先生、認定NPO法人ロシナンテス理事長で医師の川原尚行先生、新羅慎二さん、小林麻耶さん、そして、様々なボランティア活動を継続している上智大学4年・仁平史織さん。

司会は寺島尚正アナウンサーと財団の評議員でもある諏訪中央病院名誉院長・鎌田實先生で、様々な意見交換がなされました。



加藤寛幸



小林麻耶



新羅慎二



川原尚行



仁平史織



寺島尚正



鎌田 實

テーマ「さまざまな命の現場で考えること」

加藤：国境なき医師団の活動に参加して現地に行くことが驚かされることが多いです。川原先生と初めて会ったのは2003年のスーダンです。私は孤児院で仕事をしていた。6カ月の間に、100人くらいの赤ちゃんを看取ったんです。命の価値は同じと教科書には書いてありますが、到底そうは思えない状況です。



鎌田：どういう理由で亡くなっていくんですか？

加藤：15年くらい前のことですが、年間500人くらい捨て子が運ばれてくる孤児院に働いていました。来た段階でとても病状が悪い。感染症が多かったと思います。年間1500人ほどが捨てられて、三分の一は見つかった時に死んでいて、三分の一は運ばれてくる途中で亡くなる状況で、命の重さは同じではないなと思って、その状況を受け入れられなくて悩んでいた時に、川原先生に助けられました。今でもあの時の思いは変わらないです。『どうしてこんなことで命が失われていくのか、みんなが知らなければその命は軽いのか』いつも考えていることです。

川原：加藤先生と会った当時、私は外務省の医務官でした。日本政府の立場では、スーダンの方々に直接は何もできません。自分でも医者として何とかしたい。私は外務省を辞めて、NPO法人ロシナンテスを立ち上げました。スーダンは今でも国の体制がよろしくないということで、実は大学生たちが声を上げて、昨年末から全国的な反政府デモが起きました。



鎌田：スーダンの若者が立ち上がったんですか？

川原：そうです。それを医者とか学校の先生、ジャーナリストといった人たちがSPA（スーダン・プロフェッショナル・アソシエーション）という職能団体でSNSを使って若者たちを指導したんですね。これが功を奏して軍が大統領を辞めさせたんですが、今は軍と民衆がまだせめぎ合っている状況ですね。



小林：私は、乳癌を患って亡くなった妹の闘病の中で、命と向き合いました。本当に辛くて悲しくて、そんな中でも勇気をもたらしたのは、妹がいつも前向きで『絶対に元気になるぞ、絶対に回復するぞ』っていう気持ちがあったことでした。妹は残念ながら亡くなってしまいました。命には限りがあり、いつ何が起るかわからない。今、生きているということの意味を、私は妹から教えてもらいました。自分の命を大切に、できることをやっていきたいと思っています。

鎌田：ずっとテレビやSNSで妹さんが頑張っている姿を見て、日本中の人々が応援して、命って切ないけど、パワーを次々に人々に与えていくんだなって感じましたよね。だから、真央さんが生きた生き方を僕たちはしっかり受け取って、生きていくことが大事だなと思います。

新羅：音楽を作る立場で毎日「命」について考えています。皆さんのやる気や情熱は、命がある限り湧いてくる。そのエネルギーは、人に伝わって、その人の



エネルギーになる。音楽をやっていると、命のエネルギーは、誰かを再生させることができるのだと感じます。特に高校生っていうのは一番エネルギーが溢れている時で、色々なものを取り入れる時でもある。今、何に出会って何を感じるかがこれからの人生のエネルギーになっていって、そのエネルギーを誰かがまた受け取ってという連鎖を大事にして欲しい。このボランティア・アワードも命の現場だと思う。どんどん再生していくのだということを感じて欲しいと思います。

仁平：大学2年生の時にフィリピンのセブ島でスラム街を訪ね、食事配給をするボランティアを行いました。行く前はスラム街の人々は元気がないのかなと思っていたのですが、実際に行ってみるとみんな元気で、食べる物があって住む家があることが幸せと思っている人がたくさんいて、私は何不自由ない生活をしているのに何か物足りない思いがあったんですけど、今いる自分が、どれだけ幸せなのかを感じることができました。私たち先進国に暮らす人間が、困っている人たちを助けなければいけないのだと、常に考えています。



鎌田：一つの例をお話しますと、イラクで白血病になった子供たちを助ける活動を15年続けています。その中で、サブリーンという15歳の少女と出会いました。目の癌になって死んでいきましたが、手紙を残してくれました。「先生、私は死にます。でも、私は幸せでした。10歳

の時に目の癌が見つかりました。日本人のおかげできちんとした治療を受けることができました。でも、一番うれしかったことは、学校の先生に出会ったことです。病院内に学校の先生を雇っていたんです。院内学級です。「私の家は貧乏で学校に行けなかった。小児癌になって初めて学校の先生に出会った。勉強がどんなに素敵なことわかりました。勉強が私を救ってくれた。私は絵を描くことが大好きになった。私の描いた絵は日本に運ばれてチョコレートにプリントされた」チョコ募金というのを毎年やっています。一年間に15万個のチョコレート、一つ550円で売ります。純利益が約6500万円くらい。それが全部子供たちの薬代になります。そのことを彼女はよく知っているんです。「私の絵が日本でチョコレートにプリントされて、優しい日本人がそれを買ってくれて、私は死んじゃうけど、これからはイラクに日本から薬がやって来る。私と同年代の子供たちが助かるようになるから嬉しいです。先生、ありがとう。さようなら」15歳の子供が、自分は死んじゃうけど友達が助かるから嬉しいですって。すごいなあって思いました。

寺島：皆さんと同じような年齢の人たちが色々な世界で生きている。たまには勉強が嫌だなと思うかも知れませんが、考え方一つで、勉強っていうのは非常に貴重な体験なんだっていうことがわかってきますね。





Q1:なぜ、国境なき医師団に入ろうと思われたのですか？ とても大きな決断だったと思うので、きっかけや理由を知りたいと思います。(星野高等学校)

加藤: 大学を卒業する年に日本に国境なき医師団ができて、たまたま空港で流れていた映像を見て、これだと思いました。小児科医になることは決めていたんですけど、将来のイメージがなかなか持てませんでした。その映像というのが栄養失調の赤ちゃんの前に国境なき医師団のスタッフがいて、それは女性だったんですけど、別にその女性ではなく僕でもいいんだ、僕にもできることがあるんだと思えたんですね。

川原: 私から追加の質問なんですけど、先生が最初スーダンに来られた時に日本式の医療と海外の医療は違うということで悩んでいたと思うんです。それで僕は日本のオリジナリティのある NGO を作ると思ってロシナンテスを作ったわけなんですけど、しばらくしたら加藤先生が国境なき医師団日本の代表になられていたので、「あれ？ どういうこと？」って思ったんですけど(笑)。

加藤: まあ、郷に入っては郷に従えということかも知れませんが、やはり経験を積む中で対象にしている患者さんも人数も病気の質も違いますし、提供できる医療のレベルも日本でできることがアフリカでそのままできるわけではないので、当然できる範囲の中でやらなければいけない。それが最初に行った時には、この子達は日本だったら全員助けてあげられるのに助けられなくて、川原先生のところに最初に泣きついた時は、なぜこんなこともできないんだと思ったんですけど、だからと言って投げ出してしまったら、少ないかも知れないけど救える命も救えなくなるので、そういう経験を繰り返すうちに、できることをやる、救える命を救うという方にフォーカスするようになったんです。

鎌田: 面白いですね。加藤先生は世界的な組織で活動し、川原先生はジャパニーズスタイルで活動する。いろいろなスタイルがあるということが大事なことだと思います。

Q2:ロシナンテスの名前の由来は何ですか？単純に気になったので。(神戸龍谷高等学校)

川原: 「ドン・キホーテ」っていう物語を知っ

ていますか？ 私は元々外務省の医務官で、都内で役所とかいろいろな企業に行くんですけどそれは丁寧に対応されていたんですけど、辞めてしまったら、肩書きがないので、名刺に手書きで「日本スーダン友好 川原尚行」って書いたら怪しまれまして、要は皆肩書きを見てたんだと。一人一人の間ってちっけな存在でしかないんだと。けども、外務省を辞めたあと支えてくれたのは高校時代のラグビー部の連中だったんです。ロシナンテというのはドン・キホーテが乗るロバのようなやせ馬の名前なんです。風車を敵と思って向かっていく大馬鹿者なんですけど、外務省を辞めた時、友達は「お前、馬鹿やな」と。「結構な収入があったのに、なんで辞めたんだ」と。自分でも馬鹿だと思ってますけど、馬鹿でも皆で手を繋いで「よし、行くぞ！」って行けばなんかできるかなと。そんな願いを込めてロシナンテを複数形にしてロシナンテスと名付けました。

Q3:献血推進プロジェクトに参加して、何か感じたことはありますか。(星野高等学校)

小林: 私は2010年から日本赤十字社さんの献血推進プロジェクト「LOVE in Action」っていうプロジェクトに参加しているんですけど、そこで感じたのは「人間を救うのは人間だ」ということです。これだけ医療が発達しても血液は人工的には作れません。輸血用の血液を作るのは、人間しかいないんですよ。実は10代、20代の献血者数が年々減少しています。もちろん、少子化もあるので単純に比べるとは思いますが、これから更に高齢化社会になるにつれ、若者の力は本当に大切です。献血は16歳からできます。もう、みんなは人を救える力が備わっているんですね。妹は癌だったんですけど、献血の血液が一番使われているのは癌の治療なんですね。日本ですと二人に一人は癌になる時代と言われてますから、その方々の治療に大変役立つんです。妹も何度も何度も輸血で命を繋いでもらったんです。何度も危ない場面がありましたけど、真っ青だった顔色がどんどんピンク色になり、話すこともできなくなったのに笑顔が戻ってきて、冗談を言えるくらいになったんです。もしあの時、輸血がなかったら私は妹とその時間を過ごすことができなかった。この貴重な時間をプレゼントしてもらえるのが献血なんだと。献血が一番身近なボランティア活動で、人を救えるものです。私はすごく素敵だなと感じました。

鎌田: 僕もイラクの難民キャンプで治療していた時に、傷ついた子供を救うためには血液バンクが必要で、血液を通して命を助けることができるんですよ。一番大事なことは、自分が役に立たない人間だと思って自己肯定ができなくなっちゃった時に、献血に行ってみるといいですよ。自分にも人を助けられるパワーがあるんだって気づけると、そこを通してもっともいろいろなことができるんだってわかると思います。

寺島: ちなみに、将来どんな仕事に就きたいと思っていますか？

生徒: 今、部活でインドの孤児院の子供たちにビデオレターを送る活動をしているので、そういったことに関する仕事に就きたいと思っています。

Q4:一番印象に残っているボランティアは何ですか。(埼玉県立川越総合高等学校)

新羅: ボランティアという感覚ではなかったんですけど、日本テレビの難病支援のドキュメント番組を観た時に深く思ったことがありました。5歳の子供が厚生労働省に向かって「僕の命をください」と叫んでいる姿を見て、自分はなんて幸せな体で生まれて、仕事もできて好きなこともできて、なのになんで悩んでいるんだろうって。それでその子を支援したいと思ったんです。その難病は「ムコ多糖症」という非常に稀な難病で、人間にはいろいろな糖分があるんですけど、ムコ多糖という一つの糖分がないことによって、関節が動かなくなってしまいう病なんですよ。体も大きくならず骨格も固まってしまっていて、臓器が破裂したりすることもあり、二十歳まで生きられたらいいという病なんですよ。あまりにも少ないので、製薬会社がお金にならないので薬を作らない。薬を作る治験は1億円くらいかかると言われて、そういう薬もマーケットと呼ばれているのをその時初めて知ったんですね。人口が多いこともあってアメリカにはムコ多糖症患者が日本より多いんですけど、アメリカは資本主義社会で格差社会と言われてますけど、意外に弱者に対するサポートが凄いですよ。アメリカに行けば、その子達は一回500円の薬を投薬してもらって生きることができる。でも、日本だったら死ぬしかないっていう番組だったんです。あまりにも悲しくて、僕にできることは何なのかということで、コンサートで訴えかけたりしているうちに、お客さんが署名活動を始めて、ムーブメントになって、5年かかると言われていたドラッグラグが、

1年半に短縮されたんです。ボランティア一人一人の力が、社会を変えるきっかけになるのを目の当たりにしました。

鎌田: 今話を聞いて、自分の中にも何かを変える力があるんだという気持ちになりましたか？

生徒: 小さいことでも自分で見つけて一つ一つやっていこうという気持ちになりました。

新羅: 一人でも多く仲間を作って、仲間と一緒に繋がってってください。

Q5:写真洗浄のボランティアでは、どのようなことをするのですか。(秋田県立大曲農業高等学校)

仁平: 汚れてしまった写真をきれいにする活動です。昨年起きた西日本豪雨災害で被害に遭われた、岡山県の真備町から写真を送っていただき、上智大学内できれいに洗って、お返しするという活動の企画・運営を行っています。2月に真備町にボランティアに行ったんですけど、そこで写真洗浄をしました。土砂災害にあったお宅の写真って周りのインクが溶けちゃって、どろどろで何の写真かわからなくなっちゃっているんですけど、それを綺麗にしていくんです。これは東京でもできるんじゃないかと考えて、写真を送ってもらって上智大学の中で洗浄したものを真備町にお返しする活動を行っています。上智大学のボランティアセンターに相談したらバックアップしてくれたので、今は20人から30人くらいの学生が参加してくれて多くの写真を洗浄しています。写真は思い入れがあるものなので、一枚一枚丁寧に扱ってお返ししています。

生徒: 人の思い出を蘇らせるボランティアはすごく素敵だなと思いました。自分からも知らないボランティアを調べたりして、取り組める幅を広げていきたいです。

Q6:被災地支援などを行う上で、最も重要なことは何ですか。(星野高等学校)

鎌田: 人によっていろいろな支援の仕方や流儀があると思うんですけど、鎌田流は相手の身になるということをもっと心掛けています。例えば、東日本大震災で被災から三週間目くらいに宮城に入ったんですけど、自分が被災者だったら何をしたいだろうか、って考えるようにしました。で、僕だっ

たらお風呂だと思ったんですね。宮城県の石巻だったんですけど、市長さんに掛け合っ校庭を借りて、「千人風呂プロジェクト」を立ち上げ、延べ5万4千人の方々にお風呂に入ってもらいました。お風呂に入るだけではなく、そこを通して東京から塾の先生に来てもらって、子供たちは夕方学校から帰ってくるとお風呂に入って、その後、塾の先生たちに遅れた勉強を見てもらったりしながら、この発想はさだまさしさんが昨年取り組んでいるライオンカフェにも通じることで、カフェがあったらそこで情報交換ができる。そうしたら何をしてもらいたかかわかるんじゃないか。常に自分が被災者だったら何をしてもらいたか。そこからスタートすると、外れないのではないかと思います。

Q7:世界で避難生活を続ける人に、高校生だからこそできることはなんでしょうか。(栃木県立真岡女子高等学校)

加藤: 訊いて欲しかった質問です。世界で避難をしている人たちの数が第二次世界大戦以降で今一番多くなっていて、6500万人を超えています。数が増え続けていること自体も大変なことなんですけど、同時にメキシコとアメリカの間に壁を作るとか、アフリカからヨーロッパに逃げ込もうとして地中海を渡っている人たちが溺れている、その人たちを助けようとする不法行為だとして妨害をされている事実がある。これだけ多くの人が苦しい生活を送っている中で、どうして日本ではあまり取り上げられないのか。知らないことには何もできませんよね。今は、いろいろな方法を使えば、世界中のニュースを知ることができますから、自分でニュースを探して、どんなことが起こっているのか、それを見て、どれが正しいのか、自分で判断していく。そうすると次の一歩に繋がっていくんじゃないかと思うので、本当にどんなことが起きているのかを知る、自分から探して情報を得る、それが皆さんにできることで、とても大切なことだと思います。

生徒: 知ることがボランティアの第一歩だということが学べました。

Q8:新羅さんにとって音楽を通してボランティアをすることの意味を知りたいです。(星野高等学校)

新羅: ボランティアをしているという意識

はあまりないんです。東日本大震災で考えたことが多いんですが、ボランティアをしたいと思っているわけではなくて、そこにある哀しみを勉強しに行ってるという気持ちで行っています。その哀しみをもらって、それで歌を作って、全国各地に歌いに行くと、それによって救われる人がいるんですね。震災で哀しみを受けた人たちにそれを言ってあげると救われた顔をするんですね。この哀しみも誰かの為になったんですね。言われた時にすごく嬉しくて、誰かがこの哀しみを聴いて、私だけじゃないんだって思えたって。哀しみの循環が喜びに変わっていく瞬間があって、自分は歌を書かせていただいていると思って行ってます。それで誰かが救われるんだっていいなと思っています。

生徒: 相手に喜んでもらうためには、相手の気持ちに寄り添って哀しみとか苦しみを親身に考えることが大切なんだと思いました。

Q9:大学生ならではのボランティア活動はありますか。(栃木県立真岡女子高等学校)

仁平: 大学生はすごく自由な時間が多いので、自分で気になった問題にアプローチしている団体に参加してみたりとか、海外に行くとボランティアをするとか、広範囲にできると思います。私がフィリピンのボランティア活動に行ったのは、大学1年の時に東南アジアの貧困問題が大変だということを知って、自分で NGO 団体を探して申し込みました。その経験から今の大学に編入しようというきっかけにもなりました。今、教育開発に興味があって、貧困な地域に教育をもたらす機会を与えたいと思っているので、学校ではそういう研究をしています。大学生になったらいろんな課題に目を向けて活動を行って欲しいと思います。

生徒: 今から大人になった時にどんな活動ができるか調べて活かしていきたいです。



閉会式

一昨年、昨年と応援団からの特別賞を贈ってきましたが、今年は高校生の活動に関心を持たれた企業・団体が増えたことで、さらに多くの特別賞を贈ることができました。



日本航空、全日本空輸からモデルプレーン、その他の学校にはクリスタルトロフィーが贈呈されました。副賞として、電動アシスト付自転車やiPad、活動支援金を贈られた学校もありました。



最後の締めめに、松尾鯉太郎さんがもう一度高校生たちにエールを送り、2日間の大会の締めを飾りました。



風に立つライオン基金の活動の一つにボランティアの後方支援があります。高校生たちにこのバトンを受け取って欲しい。このイベントが続いて、この国が10年後に、少し形を変えていくかもしれないということを期待しています。元気で帰ってきてくれることを祈っています。(さだまさし 談)

特別賞受賞校紹介

高校生ボランティア・アワードは、全エントリー校に対して、日頃の活動を讃えて表彰しています。ブース発表というプレゼン大会でもあることから、応援団の皆さまにエールを送りたい活動校を選んでいただき、特別賞を授与しました。また、今年のご協賛・ご協力いただいた企業・団体からも特別賞をお贈りいただきました。さらに、一般来場者に「いいねシール」をお渡しし、応援したいと思った学校にシールを貼って投票していただき、投票数の一番多い学校に「来場者最高投票賞」が贈られました。

新羅慎二賞

島への漂着ごみの起源にまで遡って研究していることに感動。

山陽女子
高等学校
地歴部



ももいろクローバーZ賞

自分たちの身近なところから発想して環境問題を考えられているところが素晴らしい。

実践学園
中学・高等学校
環境プロジェクト



テツ and トモ賞

発表の仕方に起承転結があって、楽しく明るく、短くわかりやすかった。

中部大学
春日丘高等学校
インターアクトクラブ



chay賞

わかりやすく楽しいプレゼン。農業女子のための可愛い商品で私も欲しいと思った。

栃木県立
鹿沼南高等学校
課題研究野菜班



鎌田賞

働きながら定時制に通う中で、多くの被災地に行って素晴らしい活動をしている。

大阪府立
堺工科高等学校
定時制の課程
ボランティア活動部



佐渡裕賞

自分たちの町を高校生の手で活性化させたいというコンセプトに感銘。

岡山県立
倉敷古城池
高等学校
ワッショイ！
とーカーず



国境なき医師団賞

すごく新しい取り組みだと感じた。これからの活動を続けて欲しい。

静岡県立
駿河総合
高等学校
M-SIPP



さだまさし賞

高校生にもこれだけのことができるということに感動。プレゼンは上手ではなかったが、逆にそれが良かった。

兵庫県立
洲本実業
高等学校
ソフトエネルギー
研究ユニット



来場者最高投票賞

二年連続の受賞。獲得票数 960 (投票総数：19029)。

ぐんま国際
アカデミー
中高部
女子学生
ヘッドネーション同好会



DNP賞

自社 (DNP) で作る環境に優しい包材も、こうしたリサイクル活動に支えられている。

福島県立
平工業高等学校
生徒会



日本航空賞

世界に目を向けていること。毎日20人集まって活動しているという汗の量に。

神戸市立
科学技術
高等学校
空飛ぶ車いす
研究会



ANA賞

発展途上国カンボジアという視点と、SDGsを意識しているところに感銘。

徳島県立
徳島商業
高等学校
校内模擬会社
COMCOM



日本ほめる達人協会賞

昨年選ばれなかったくやしさをバネに、今までの取り組みを改良し、大きくしていることに感銘。

福岡県立
水産高等学校
アクアライフ科



マイナビ賞

自分たちで地域の伝統文化に危機意識を持って地域を巻き込んでいったところに感動。

金光学園高等学校
岡山龍谷高等学校
鹿島朝日高等学校
白石踊 800 年の
伝統を受け継ぐ会



カーコンビニ倶楽部賞

いずれの高校も地域に密着し、地域の課題を解決していこうとしている点、それを継続していること。

北海道市幌高等学校
環境専攻班・土観環境講座 / ボランティアクラブ
青森県立五所川原農林高等学校
野菜研究室
群馬県立利根実業高等学校
生物資源研究部
セントヨゼフ女子学園高等学校
学園会
奈良県立磯城野高等学校
Flowers



ライオンズクラブ賞

日本伝統の柿渋を使った商品開発、廃油を使った石けんなど全国に広めて欲しい。

岐阜県立
加茂農林
高等学校
堂上峰屋柿
Activation Pro



つなげるテレビ TOKYO MX賞

子供食堂で勉強を教えている姿が、「子供の未来応援」という自社の取り組みとピッタリ。

東京学芸大学
附属国際
中等教育学校
とも × とも



高校生ボランティア・アワード2019

参加校数：134校 参加団体数：100団体 参加生徒数：5,570人

エントリー校 一覧

北海道 北海道士幌高等学校 環境専攻班・士幌環境講座
士幌の原植生 カシワ林を後世に伝えるために

北海道 北海道士幌高等学校 ボランティアクラブ
First Step! ～地域の子も達が歩む新しい一歩への架け橋となって～

北海道 北海道三笠高等学校 地域連携部
三笠市の活性化を目指して！！

北海道 小樽双葉高等学校 奉仕活動部
地域密着型おたすけマン 4つの光～守る・未来・清掃・温かい～

北海道 北海道滝川高等学校 放送局
臓器移植の意思表示をすることの大切さを伝える番組制作

青森県 青森県立名久井農業高等学校 5代目 TEAM PINE
農園を農援で応援！！

青森県 青森県立名久井農業高等学校 Bubble Boys & Treasure Hunters
NEW GREEN REVOLUTION ～途上国に安全な水と食料を届けるために～

青森県 青森県立五所川原農林高等学校 野菜研究室
津軽の農村風景や農体験を活用した「高校生認知症カフェ」の運営

宮城県 宮城県農業高等学校 科学部復興プロジェクトチーム
循環型育成法から生まれた校舎で目指せ！桜の国 ～私達の復興への挑戦～

宮城県 宮城県築館高等学校 人のためプロジェクト
人のためプロジェクト～自分のためはあたりまえ 人のためになることをしよう～

宮城県 宮城県名取北高等学校 奉仕活動部
被災地に暮らす高校生のボランティア活動

秋田県 秋田県立和利田高等学校 ボランティア部
サタプロ

秋田県 秋田県立大曲農業高等学校 生物工学部
SDGs No.15 ～田沢湖の水質研究より～

山形県 山形県立山形工業高等学校 土木・化学研究会 (旧環境システム研究会)
科学ボランティア活動報告

山形県 山形県立置賜農業高等学校 豆ガールズプロジェクト
伝統野菜の紅大豆で育む、結ぶ、広げる地域活動

福島県 福島県立光南高等学校 矢吹の町を支え隊
矢吹町との地域連携によるボランティア活動活性化

福島県 福島県立山形世高等学校 読み聞かせボランティア
保育園・高齢者施設で読み聞かせ

福島県 福島県立白河実業高等学校 機械科課題研究班
想いよ届け！地域の人へ！ ～make a trash box～

福島県 福島県立平工業高等学校 生徒会
「もったいない！」から始まる社会・国際貢献活動

茨城県 茨城キリスト教学園高等学校 インターアクトクラブ
ボランティア活動を通して見える世界

栃木県 栃木県立鹿沼南高等学校 課題研究野菜班
～農業女子のための～人と環境と地元へ優しい手指洗剤の開発

栃木県 栃木県立栃木農業高等学校 とちのう道普請プロジェクト班
道普請による持続可能な林道整備

栃木県 栃木県立学悠館高等学校 JRC部
「わ」を繋ぐ ～共存から共生へ～

栃木県 栃木県立真岡女子高等学校 JRC部
地域と繋がる人と繋がる！対象も活動も無限大

群馬県 群馬県立利根実業高等学校 生物資源研究部
野生動物被害から農家や自然環境を救う活動

群馬県 ぐんま国際アカデミー中高等部 女子高生ヘアドネーション同好会
想いを届ける幸運のウィッグ

群馬県 群馬県立館林高等学校 JRC部
目指せ 未来のイクメンリーダー ～子どもたちを笑顔にする活動～

埼玉県 川口市立高等学校 ボランティア部
地球市民として、私たちにできること

埼玉県 埼玉県立栗橋北彩高等学校 ボランティア部
「避難所は、ここです！」…避難所への一歩を踏み出してもらうために

埼玉県 埼玉県立大宮工業高等学校 インターアクトクラブ
捨てればゴミ、送れば笑顔！

埼玉県 埼玉県立川越総合高等学校 JRC部
三ツ又沼ピオトーブを守るう！

埼玉県 埼玉県立川越総合高等学校 FFFJクラブ
三富新田を世界農業遺産へ

埼玉県 埼玉県立ふじみ野高等学校 生徒会執行部
農村魅力発信

埼玉県 星野高等学校 国際文化部
われら川越レンジャー！

千葉県 千葉県立松戸南高等学校 科学部 Team Quad-E
水草で手賀沼は救えるか！？～水草ゲージの開発と運用～

千葉県 千葉県立津田沼高等学校 理科部生物班
谷津干潟ワイズユースプロジェクト

千葉県 千葉県立八千代西高等学校 図書委員会
本と人を繋ぐ読書活動 本の楽しみを地域と共に

千葉県 千葉県立国府台高等学校 生物部
地域の人々とする江戸川周辺の自然保護

東京都 八王子学園八王子高等学校 ボランティア部・車人形同好会
なんでもボランティア

東京都 獨協中学・高等学校 緑のネットワーク委員会
障害者支援施設へのピオトーブ設置活動拠点

東京都 東京都立国立高等学校 ボランティア同好会
くになちカルタを通しての地域交流

東京都 白百合学園高等学校 ボランティア委員会+小百合会
ゆりこころ被災地訪問から～わたしたちができることを考える～

東京都 広尾学園高等学校 インターナショナルコース翻訳ボランティア
海外大学講座翻訳ボランティア

東京都 東京学芸大学附属国際中等教育学校
とも×とも～高校生による子ども食堂での無料学習支援～
高校生による子ども食堂での無料学習支援

東京都 東京都立国際高等学校 国際協力ボランティア同好会
～地域とつながり世界を知る～

東京都 実践学園中学・高等学校 環境プロジェクト
屋上ピオトーブ「実践の森」を活かしたエコ活動

東京都 東京都立杉並総合高等学校 杉総組 team F
インドネシアの孤児院でのボランティア

神奈川県 桐蔭学園高等学校 インターアクトクラブ
アジアの子供たちへの教育支援活動

神奈川県 神奈川県立中央農業高等学校 養鶏部
中農にわとり・アヒルプロジェクト

神奈川県 横浜清風高等学校 インターアクトクラブ
豊と地域の万屋

神奈川県 慶應義塾湘南藤沢高等部 環境プロジェクト
「半学半教」一人との「つながり」から得ることー

神奈川県 日本女子大学附属高等学校 人形劇団ベロッコ
人形劇を通してのボランティア活動

神奈川県 鎌倉学園中学校・高等学校 インターアクト部
古都鎌倉で未来へつなぐボランティア

神奈川県 神奈川県立横浜南陵高等学校 社会福祉部
横浜南陵高校 社会福祉部

富山県 富山国際大学付属高等学校 メディア・テクノロジー部
ソーシャル・イノベーションに基づいた機器提供意思発表率向上の研究活動

福井県 福井県立鯖江高等学校 JRC部
ふるさどから世界へ 一人道・奉仕一

福井県 福井県立足羽高等学校 JRC部
「ハードよりソフト！」を心に

山梨県 身延山高等学校 手話コミュニケーション部
手と手・心と心で繋がれ～ろう者と聴者の架け橋になる～

長野県 長野県松川高等学校 ボランティア部
平成から令和を繋ぐ「平和の種まき」～東北継続支援交流と満蒙開拓を伝える活動～

岐阜県 岐阜県立加茂農林高等学校 堂上蜂屋塾 Activation Pro
日本の伝統文化「柿渋」を守る ～柿渋商品の開発と交流～

岐阜県 岐阜県立岐山高等学校 生物部魚班
清流？長良川～地域で取り組む外来魚問題～

静岡県 静岡県立駿河総合高等学校 M-SIPP
フェアトレードとエシカル消費

静岡県 静岡県立富岳館高等学校 富岳特産物研究班
特産物育成からみえた持続可能な農業
～富士山の麓で私たちにできること 循環型社会の構築を目指して～

静岡県 浜松学芸中学校・高等学校 ボランティア部
高校生でもできるボランティア活動 (行動と啓蒙)

愛知県 愛知県立岡崎東高等学校 JRC部
ニーズに基づいたボランティア活動が地域を変える

愛知県 桜花学園高等学校 インターアクトクラブ
「しあわせ届け隊」としての活動報告

愛知県 愛知県立木曽川高等学校 総合実務部
国の天然記念物「木曽川のイタセンバラ」の保護に繋がる活動

愛知県 中部大学春日丘高等学校 インターアクトクラブ
目の前の人を笑顔にするボランティア活動

三重県 セントヨゼフ女子学園高等学校 学園会
ウォーカソン

ブース発表 100 団体

滋賀県 滋賀県立八日市南高等学校 地域支援活動同好会
東日本大震災の教訓を地域支援へ活かす取り組み

京都府 京都府立綾部高等学校 分析化学部
地域と取り組む由良川保全活動～桃・環境戦隊「由良川レンジャー」奮闘記～

大阪府 大阪府立堺工科高等学校 定時制の課程 ボランティア活動部
復興支援プロジェクト

大阪府 大阪府立堺工科高等学校 定時制の課程 生徒会活動部
「ゆめ・チャレ」プロジェクト

大阪府 大阪府立枚岡樟風高等学校 瓢箪山戦隊ショウフウジャー (地域貢献部)
地域を笑顔に！瓢箪山戦隊ショウフウジャー & 地域貢献部

兵庫県 神戸市立科学技術高等学校 空飛ぶ車いす研究会
使われなくなった車いすを修理・整備し東南アジア諸国へ届ける活動

兵庫県 兵庫県立東播磨高等学校 生徒会執行部
生徒会として、様々なボランティア活動をしています。

兵庫県 兵庫県立神崎高等学校 ボランティア部
今、私たちができること

兵庫県 兵庫県立松陽高等学校 災害食で地域活性化 Project team
災害食で地域活性化 Project

兵庫県 兵庫県立兵庫高等学校 創造科学科 3期生
新たな長田へ一直線

兵庫県 兵庫県立神戸商業高等学校 理科研究部
漂着ゴミ回収と海洋ゴミの調査研究

兵庫県 兵庫県立洲本実業高等学校 ソフトエネルギー研究ユニット
風車街路灯を寄贈するボランティア活動

兵庫県 神戸龍谷高等学校 JVC
ネパール教育支援

奈良県 奈良育英高等学校 生徒会 & 執行委員会・有志 with 写真部
被災地支援活動と奈良の観光ボランティア

奈良県 奈良県立磯城野高等学校 Flowers
花育て地域のつながりを

島根県 島根県立平田高等学校 JRC部
災害時啓発をオリジナル「体験型」で企画して地域へ！
～地域みんながバリアフリーの防災対策～

岡山県 金光学園高等学校/岡山龍谷高等学校/鹿島朝日高等学校
白石踊 800年の伝統を受け継ぐ会
白石踊 800年の伝統を受け継ぐ

岡山県 岡山県立倉敷古城池高等学校 ワッショイ！とーかーず
こども食堂がコミュニティの核になる！

岡山県 山陽女子高等学校 地歴部
瀬戸内海の海洋ごみ問題の解決に向けての女子中高生の挑戦

広島県 広島県立広島工業高等学校 広島市工サイエンス工房
高校生による、持続可能な社会の実現～ユニバーサル・エンジニアを目指して！～

広島県 広島県立大手町商業高等学校 生徒会
思いやりと豊かな心プロジェクト

山口県 宇部フロンティア大学附属香川高等学校 コネスコ部
安全ポシェットで交通事故防止

山口県 山口県立柳井商工高等学校 まちづくりプロジェクトチーム
商工連携で挑戦する まちづくり・ものづくり
～地域の宝 伝統工芸柳井編の普及と伝統継承を目指して～

徳島県 徳島県立阿南光高等学校/徳島県立小松島西高等学校勝浦校/
徳島県立小松島高等学校/徳島県立徳島北高等学校
緑のリサイクルソーシャルエコプロジェクトチーム
「未来の地球のために私たちができること」をそして「私たちは3.11を忘れない」

徳島県 徳島県立徳島商業高等学校 校内模擬会社 COMCOM
PBL から SPS を目指して～カンボジアソーシャルビジネスプロジェクト～

徳島県 徳島市立高等学校 市高ドナーアクション啓発委員会
命を繋ぐ意思表示

高知県 高知県立伊野商業高等学校 商業技術部内和紙研究会
土佐和紙を世界に発信する！

福岡県 福岡常葉高等学校 ボランティア部
思いやり 気づき

福岡県 福岡県立水産高等学校 アクアライフ科
海に触れる「ぎょしょく」活動

佐賀県 佐賀県立佐賀商業高等学校 さが学舎
ぐるぐる SAGA

沖縄県 沖縄県立中部農林高等学校 PSP 環境土木チーム
ペーパースラッジを活用したエコ資材の開発～産業廃棄物で甦しの空間づくり～

ポスター発表 28 校

北海道 北海道函館水産高等学校 なかの研究所
渡島大沼流入河川における水質調査および魚類調査

福島県 福島県立平支援助学校 JRCボランティア部
THIS IS ME! 障がい当事者によるボランティア

福島県 福島県立福島高校 サンキュー・カンボジア・プロジェクト
カンボジアの子供たちに教育を

茨城県 茨城県立岩井高等学校 岩高 Link プロジェクト
岩高 Link プロジェクト

栃木県 栃木県立宇都宮北高等学校 科学部 (科学実践活動グループ)
トウキョウサンショウウオを守るために～アメリカザリガニの防除と生態調査～

群馬県 群馬県立渋川工業高等学校 JRC部
地域貢献活動への取り組み

埼玉県 立教新座高等学校 生物部
黒目川の環境調査

東京都 開智日本橋学園中学・高等学校 Kaichi Volunteer English Team
「英語が楽しい」と感じてもらえる環境作りから地域貢献へ

東京都 関東第一高等学校 国際0-列-第 2580 地区(ウタ・アクト7)
国際交流と地域密着した奉仕活動

東京都 桜丘中学高等学校 青少年赤十字部
サンゴ礁を守れ！

東京都 東京学芸大学附属国際中等教育学校 ボランティア部
「Social Action Team ～中高生が参画できる社会を目指して～」

東京都 お茶の水女子大学附属高等学校 アフガン☆ボランティア部
Giving Something Back

東京都 東洋高等学校 ボランティア部
都会の中心から 人とのつながりと優しさを

東京都 豊南高等学校 手話部
手話をもっと多くの人に知ってもらおう

福井県 北陸学園北陸高等学校 北陸高校弓道部
ユニセフチャリティー弓道大会

静岡県 静岡市立清水桜が丘高等学校 パソコン部
デジタルボランティア

静岡県 静岡県立金谷高等学校 ボランティア部
地域に貢献しよう

愛知県 愛知県立津島北高等学校 ボランティア部
みんなの心に笑顔の花を咲かせよう！

京都府 洛南高等学校 ボランティア同好会
地域に根づいた子どもと関わるボランティア活動

大阪府 帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校 ボランティア部
お役に立ちます。ボランティア部

兵庫県 兵庫県立柏原高等学校 インターアクト部
柏原町並み車いすマップの作成と外国人観光客対象のガイドボランティア

兵庫県 兵庫県立東播磨工業高等学校 空飛ぶ車いすサークル
使われなくなった車いすを修理・再生して、アジア諸国や被災地にプレゼントする活動

岡山県 おかやま山陽高等学校 硬式野球部
世界の笑顔のために

広島県 広島県立加計高等学校 生徒会
Smile toy' s project

広島県 福山暁の星女子中学・高等学校 生徒会奉仕係
おにぎり弁当 ～気持ちを届ける募金活動～

徳島県 徳島県立阿南光高等学校 バイテック・農業クラブ
里山再生プロジェクト 守れ！イシマササユリ
～中・高・大連携、バイテック技術を活用した環境保全・人材育成活動～

香川県 坂出第一高等学校 食物科料理研究部
食のアンテナショップ SAKAIDE

高知県 高知県立中村高等学校西土佐分校 Rapport
環 ～地域とつながる～

ライオン・ユースクラブ 認定団体

北海道 北海道阿寒高等学校 ボランティア局
北海道 北海道樺太高等学校 地域環境課/ 標茶おもてなしプロジェクト
北海道 北海道帯広南商業高等学校 ボランティア部
北海道 江陵高等学校 福祉クラブ
北海道 双葉高等学校 奉仕活動部
北海道 市立札幌開成中等教育学校 ボランティア局
北海道 北海道函館水産高等学校 北のくにづくりチーム
北海道 札幌北斗高等学校 生徒会ボランティアチーム
北海道 北海道土幌高等学校 環境専攻班/ボランティアクラブ
北海道 道愛女子高等学校 道愛フードバンク
北海道 北海道三笠高等学校 地域連携部
北海道 北海道滝川高等学校 放送局
青森県 青森県立七戸高等学校 青少年赤十字部
青森県 青森県立久井農業高等学校 TEAM FLORA PHOTONICS / 伝統野菜班 / 5代目 TEAM PINE / Bubble Flors & Treasure Hunters
青森県 青森県立十和田西高 観光PRセンター
「青森県立十和田西高 観光PRセンター」
青森県 青森県立五所川原森林高等学校 野菜研究室
若手県 若手県立前沢高等学校 生徒会
宮城県 宮城県名取北高等学校 奉仕活動部
宮城県 仙台白百合学園高等学校 社会奉仕部小白百合会
宮城県 尚絅学院高等学校 インターアクトクラブ
宮城県 宮城県村田高等学校 JRC 部
宮城県 宮城県本吉曹高等学校 ハンドインハンド部
宮城県 宮城県石巻商業高等学校 生徒会執行部
宮城県 聖和学園高等学校 聖和祭実行委員会
宮城県 宮城県農業高等学校 科学部復興プロジェクトチーム
宮城県 宮城県築館高等学校 築高ボランティア部
秋田県 秋田県立大曲農業高等学校 生物工学科
秋田県 秋田県立増田高等学校 農業学科 野菜専攻班
秋田県 秋田県立十和田南高等学校 ボランティア部
山形県 山形県立杉山産業高等学校 農業部 バイオテクノロジー班
山形県 山形県立山形工業高等学校 環境システム研究会
山形県 山形県立小国高等学校 小国を愛す白い森 CHS プロジェクト
山形県 山形県立置賜農業高等学校 豆ガールズプロジェクト
福島県 福島県立平工業高等学校 生徒会
福島県 福島県立あさか開成高等学校 読み聞かせボランティア部オイガ/ JRC ボランティア委員会
福島県 福島県立須賀川高等学校 JRC 部
福島県 福島成蹊高等学校 JRC・IAC 部
福島県 福島県立平支庁高等学校 JRC ボランティア部
福島県 福島県立光南高等学校 矢吹の町を支え隊
福島県 福島県立山形世高等学校 読み聞かせボランティア
福島県 福島県立白河実業高等学校 機械科 課題研究班
福島県 福島県立福島高等学校 サクキュー・カンボジア・プロジェクト
茨城県 水戸女子高等学校 インターアクトクラブ
茨城県 茨城県立伊奈高等学校 JINA
茨城県 茨城県立岩井高等学校 生徒会・有志
茨城県 茨城キリスト教学院高等学校 インターアクトクラブ
栃木県 栃木県立宇都宮高等学校 定時制課程 JRC 部
栃木県 栃木県立宇都宮北高等学校 科学研究実践活動グループ
栃木県 栃木県立真岡女子高等学校 JRC 部
栃木県 栃木県立鹿沼南高等学校 課題研究野菜班
栃木県 栃木県立栃木農業高等学校 とちの道普請プロジェクト班
群馬県 伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校 JRC・インターアクト部
群馬県 群馬県立松井田高等学校 吹奏楽部
群馬県 群馬県立前橋商業高等学校 インターアクト部
群馬県 群馬県立利根高等学校 理科部
群馬県 群馬県立利根実業高等学校 生物資源研究部
群馬県 群馬県立渋川工業高等学校 JRC 部
群馬県 ぐんま国際アカデミー-中等部 女子高生ヘアドネーション同好会
群馬県 群馬県立館林高等学校 JRC 部
埼玉県 星野高等学校 国際文化部
埼玉県 立教新座高等学校 友人会
埼玉県 さいたま市立浦和高等学校 「青少年赤十字 JRC」
埼玉県 埼玉県立浦和高等学校 定時制生徒会
埼玉県 埼玉県立川越総合高等学校 川越救援隊 東北復興ボランティア/ FFJクラブ/ JCR 部
埼玉県 埼玉県立本庄高等学校 TEAM 柏
埼玉県 埼玉県立狭山緑陽高等学校 生徒会
埼玉県 埼玉県立栗橋北彩高等学校 ボランティア部
埼玉県 本庄第一高等学校 生徒会/ボランティア部
埼玉県 大川学園高等学校 大川学園高等学校
埼玉県 川口市立高等学校 ボランティア部
埼玉県 秋草学園高等学校 ボランティア部
埼玉県 埼玉県立ふじみ野高等学校 生徒会執行部
埼玉県 大宮開成高等学校 インターアクト部
埼玉県 埼玉県立大宮工業高等学校 インターアクトクラブ
千葉県 千葉県立国分高等学校 ハントワリング部
千葉県 国府台女子学院高等部 ボランティア部
千葉県 千葉県立船橋芝山高等学校 科学研究部 生物班
千葉県 千葉県立国府台高等学校 理科研究部
千葉県 千葉県立館山総合高等学校 インターアクト部
千葉県 船橋市立船橋高等学校 JRC 同好会
千葉県 千葉県安房西高等学校 JRC 部
千葉県 千葉県立津田沼高等学校 理科部 生物班
千葉県 千葉県立船橋豊富高等学校 JRC・UNESCO 部
千葉県 千葉県立松戸南高等学校 科学研究部 TEAM EEE
千葉県 千葉県立八千代西高等学校 図書委員会
東京都 お茶の水女子大学附属高等学校 アフガンボランティア部/オウムプロジェクト
東京都 東京学芸大学附属国際中等教育学校 ボランティア部/とま×とま〜高校生による子ども食堂での無料学習支援〜
東京都 東洋高等学校 ボランティア部
東京都 小野学園女子高等学校 インターアクトクラブ/ハルーンアート・ハンドクラフトクラブ
東京都 東京都立杉並総合高等学校 とびたってました、スキソウ組 Team F
東京都 滋徳養育高等学校 美子文会
東京都 東京都立多摩工業高等学校 JRC 部
東京都 順天高等学校 社会福祉部
東京都 藤村女子高等学校 児童文化部
東京都 東京都立蒲田高等学校 ボランティア部
東京都 東京都立目黒高等学校 生徒会

東京都 東京都立立東高等学校 ボランティア部
東京都 立志舎高等学校 ボランティア同好会
東京都 京華女子高等学校 ボランティア同好会
東京都 八王子学園/八王子高等学校 ボランティア部
東京都 東京都立田無工業高等学校 都市工学科 1年 A組 /生徒会/ラグビー部
東京都 蒲田女子高等学校 JRC 部
東京都 大妻中野高等学校 JRC 部
東京都 安田学園高等学校 生徒会
東京都 東京都立橘高等学校 ボランティア同好会
東京都 攻玉社高等学校 ボランティア愛好会
東京都 青山学院高等部 ボランティア部
東京都 東京都立田柄高等学校 ボランティア部
東京都 桜丘高等学校 JRC 部
東京都 東京都国際高等学校 国際協力ボランティア同好会
東京都 豊南高等学校 手話部
東京都 白百合学園高等学校 ボランティア委員会/ゆりこころ/小百合会/きらきら星ネットとの共催でのクリスマス会
東京都 雅協高等学校 緑のネットワーク委員会
東京都 東京都立大崎高等学校 防災活動支援隊
東京都 実践学園高等学校 環境プロジェクト
東京都 東京女子館高等学校 ボランティア部
東京都 愛国高等学校 インターアクトクラブ
東京都 大森学園高等学校 大森学園おもちゃの病院
東京都 東京都立国立高等学校 ボランティア同好会
東京都 救世教団高等学校 生徒会&義塾部
東京都 関東第一高等学校 インターアクトクラブ
東京都 開智日本橋学園 Kaichi Volunteer English Team
東京都 広尾学園高等学校 広尾学園インターナショナルコース翻訳ボランティア
神奈川 日本女子大学附属鳳高等学校 人形劇団ヘッコ
神奈川 慶應義塾湘南藤沢高等部 環境プロジェクト
神奈川 横浜賀学院高等学校 インターアクト部
神奈川 神奈川県立吉田島高等学校 農業クラブ 華花部/農業クラブ 果樹部
神奈川 横浜市立横浜総合高等学校 ボランティア部
神奈川 神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校 JRC 部
神奈川 神奈川県立麻生高等学校 GCC
神奈川 立花学園高等学校 インターアクトクラブ
神奈川 法政大学女子高等学校 エコ・アクション・プロジェクトチーム
神奈川 川崎市立川崎高等学校 福祉ボランティア部
神奈川 清泉学院高等学校 生徒会
神奈川 桐蔭学園高等学校 インターアクトクラブ
神奈川 カリタス女子高等学校 アンジェラスの会
神奈川 神奈川県立中央農業高等学校 養蠶部
神奈川 横浜清風高等学校 インターアクトクラブ
神奈川 鎌倉学園中学校・高等学校 インターアクト部
神奈川 神奈川県立横浜南陵高等学校 社会福祉部
富山県 富山県立氷見高等学校 JRC 部
富山県 富山県立中央農業高等学校 河川環境を守り隊
富山県 富山県立砺波工業高等学校 工学部
富山県 龍谷富山高等学校 生徒会
富山県 富山国際大学付属高等学校 メディア・テクノロジー部
石川県 石川県立津幡高等学校 朱鷺サポート隊・園芸部
福井県 福井県立北越高等学校 弓道部
福井県 福井県立足羽高等学校 JRC 部
福井県 福井県立若狭高等学校 スキューバダイビング部
福井県 福井県立鯖江高等学校 JRC 部
山梨県 身延山高等学校 手話コミュニケーション部
山梨県 山梨英和高等学校 YWCAのみまわり部
山梨県 山梨学院高等学校 ボランティア交流会
長野県 エクセラン高等学校 環境科コース
長野県 長野県下高井農林高等学校 園芸福祉クラブ
長野県 長野県柳ヶ根工業高等学校 勤人同好会
長野県 長野県松川高等学校 ボランティア部
岐阜県 岐阜県立岐阜工業高等学校 化学研究部
岐阜県 岐阜県立岐山高等学校 生物部 カワコナ班/生物部 魚班
岐阜県 岐阜市立岐阜商業高等学校
岐阜県 岐阜県立岐阜高等学校 自然科学部 生物班/ ESS 部
岐阜県 岐阜県立池田高等学校 家庭クラブ
岐阜県 岐阜県立羽島高等学校 Sクラブ
岐阜県 岐阜県立加茂農林高等学校 堂上 蜂屋飾 Activation Pro
静岡県 静岡県立浜松湖北高等学校佐久間分校 ファーブル委員会
静岡県 静岡県立浜松北高等学校 ひまわりの会
静岡県 静岡県立掛川東高等学校 ボランティア部
静岡県 静岡県立富田高等学校 農業クラブ/健康福祉列/ヤコン研究班/富田特産物研究班
静岡県 静岡県立金谷高等学校 ボランティア部
静岡県 静岡県立駿河総合高等学校 「M-SIPP」
静岡県 静岡市立清水桜が丘高等学校 パンコ部
静岡県 静岡県立磐田農業高等学校 高校生農業塾☆きらきら☆
静岡県 静岡県立静岡農業高等学校 いきものがかり
静岡県 静岡県立富田高等学校 静岡県立富士宮北高等学校/静岡県立富士宮西高等学校/静岡県立富士宮東高等学校 /星陵高等学校 /富士宮高校会連飾
静岡県 浜松学芸中学校・高等学校 ボランティア部
静岡県 静岡県立藤枝北高等学校 食品サイエンス部
愛知県 桜花学園高等学校 インターアクトクラブ【しあわせ届け隊】
愛知県 光ヶ丘女子高等学校 点訳部
愛知県 名古屋経済大学高蔵高等学校 理科部
愛知県 豊川高等学校 インターアクトクラブ
愛知県 椋山女子学園高等学校 社会福祉部
愛知県 中部大学等日丘高等学校 インターアクトクラブ
愛知県 愛知県立豊田工業高等学校 チーム AMITAMA
愛知県 南山高等学校女子部 小百合会
愛知県 名古屋大台高等学校 生徒会
愛知県 愛知啓成高等学校 ボランティア部
愛知県 名古屋経済大学市邨高等学校 ボランティア同好会
愛知県 愛知県立津島北高等学校 商業活性化部
愛知県 日本福祉大学付属高等学校 国際協力部
愛知県 愛知県立岡崎東高等学校 JRC 部
愛知県 愛知県立木曽川高等学校 総合義務部
三重県 鈴鹿高等学校 <おれ
三重県 セントヨゼフ女子学園高等学校 学園会
滋賀県 滋賀県立八日市南高等学校 地域支援活動同好会
滋賀県 滋賀県立八幡高等学校 社会福祉部
京都府 京都府立京都八幡高等学校 南キャンパス ボランティア部 (南)

京都府 京都府立綾部高等学校 由良川キャンパス 分析化学部
京都府 立命館宇治高等学校 がまだす KUMATOMO
京都府 洛南高等学校 ボランティア同好会
大阪府 大阪府立園芸高等学校 ヒートアップ部
大阪府 大阪府立吹田南風高等学校 龍崎山戦隊ショウフジャー (地域貢献部)
大阪府 金輪千里高等学校 ボランティア部
大阪府 大阪府立東百舌鳥高等学校 東百舌鳥高等学校 有志
大阪府 大阪府立堺工科大学高等学校 生徒会執行部
大阪府 大阪府立堺工科大学高等学校 定時制課程 ボランティア活動部/生徒会活動部
大阪府 大阪府立佐野高等学校 ユネスコ部
大阪府 金剛会高等学校 ボランティア有志
大阪府 帝塚山学院泉ヶ丘高等学校 ボランティア部
兵庫県 神戸市立科学技術高等学校 空飛ぶ車いす研究会
兵庫県 神戸龍谷高等学校 JVC (ジュニアボランティアクラブ)
兵庫県 兵庫県立柏原高等学校 ボランティア部 (インターアクトクラブ)
兵庫県 兵庫県立東播磨高等学校 生徒会
兵庫県 芦屋学園高等学校 ボランティア部
兵庫県 兵庫県立但馬農業高等学校 ボランティア部
兵庫県 神戸常盤女子高等学校 ボランティア部
兵庫県 兵庫県立神崎高等学校 ボランティア部・インターアクトクラブ
兵庫県 相生学院高等学校 明石校 創作絵本 ベンチプロジェクト
兵庫県 神戸大学附属中等教育学校 フードバンク
兵庫県 兵庫県立芦屋高等学校 ボランティア部
兵庫県 兵庫県立洲本実業高等学校 ソフトエネルギー研究ユニット
兵庫県 兵庫県立東播工業高等学校 空飛ぶ車いすサークル
兵庫県 兵庫県立神戸商業高等学校 理科研究部
兵庫県 兵庫県立松陽高等学校 災害食で地域活性化 Project team
兵庫県 兵庫県立兵庫高等学校 創造科学科 3期生
奈良県 奈良県立部所実業高等学校 環境緑地科【生物多様性の保全】研究班
奈良県 橿原学院高等学校 インターアクトクラブ
奈良県 奈良育英高等学校 生徒会・執行委員 &有志
奈良県 奈良県立磯城野高等学校 Flowers
和歌山県 和歌山県立御高高等学校 NAGA-B.C.C.
和歌山県 和歌山県立熊野高等学校 kumano サポーターズリーダー
和歌山県 和歌山県立海南高等学校 美里分校 生徒会
和歌山県 開智高等学校 生徒会

和歌山県 和歌山県立伊都中央高等学校 生徒会・地域連携部
和歌山県 和歌山県立田辺高等学校 生物部
島根県 島根県立平田高等学校 JRC 部
島根県 出雲西高等学校 インターアクトクラブ
島根県 出雲北陵高等学校 インターアクトクラブ
岡山県 山陽女子高等学校 JRC 部・地歴部
岡山県 おかやま山陽高等学校 硬式野球部
岡山県 岡山県立倉敷中央高等学校 福祉科
岡山県 金光学園高等学校・岡山龍谷高等学校 倉敷朝日高等学校白石路 800 年の伝統を受け継ぐ会
岡山県 岡山県立倉敷古城池高等学校 フッシュョイ!ヒーカーず
広島県 広島市立広島工業高等学校 広島市工サイエンス工房
広島県 広島市の星女子高等学校 第1学年/生徒会奉仕係
広島県 広島なぎさ高等学校 ボランティア部
広島県 清水ヶ丘高等学校 インターアクトクラブ
広島県 広島県立北陵高等学校 生徒会
広島県 広島県立瀬戸田高等学校 しまおこし事業部
広島県 広島市立大町商業高等学校 生徒会
山口県 山口県立豊北高等学校 ボランティア研究会
山口県 山口県立宇部工業高等学校 ESD 実行委員会
山口県 山口県立柳井川高等学校 まちづくりプロジェクトチーム
山口県 宇部フロンティア大学附属香川高等学校 ユネスコ部
徳島県 徳島県立阿南光高等学校 バイオテクノロジーコース
徳島県 徳島県立阿南光高等学校 徳島県立松島西高等学校 普済校/徳島県立小松島高等学校 緑のリサイクル・ソーシャル・エコ・プロジェクトチーム
徳島県 徳島市立高等学校 Donor action in Tokushima
徳島県 徳島県立徳島商業高等学校 ビジネス研究部 校内模擬会社 ComCom
香川県 坂出第一高等学校 食物科 理科研究部
香川県 香川県藤井高等学校 生徒会
香川県 香川県立三木高等学校 ボランティア同好会/英会話部
香川県 香川県立高松商業高等学校 書道部
愛媛県 新田青雲中等教育学校 手話部
愛媛県 愛媛県立新居浜高等学校 地域・国際研究部
愛媛県 愛媛県立宇和島東高等学校 ボランティア部
愛媛県 愛媛県立宇和島水産高等学校 水産増殖科
高知県 高知県立瀨北高等学校 瀬北 ECOFLUGELS
高知県 高知県立中村高等学校 西土佐分校 地域ボランティア隊 Rapport
高知県 清和女子高等学校「清和ユネスコスクールプロジェクト/東伊予会 ユネスコ環境プロジェクト」
高知県 高知県立伊野商業高等学校 和紙研究会

福岡県 福岡県立小倉工業高等学校 インターアクトクラブ
福岡県 東京紫学園高等学校 理科部
福岡県 福岡県立水産高等学校 アクアライフ科
福岡県 中村学園女子高等学校 インターアクトクラブ
福岡県 福岡県立糸島農業高等学校 根っこ部
福岡県 福岡商業高等学校 ボランティア部
佐賀県 佐賀清和高等学校 インターアクト部
佐賀県 佐賀県立栢商業高等学校 インターアクト部
佐賀県 佐賀県立佐賀商業高等学校 さが学美舎
長崎県 長崎県立佐世北高等学校 長崎県北地区 高校生1万人署名活動・1万本鉛筆運動
長崎県 長崎女子高等学校 インターアクトクラブ
長崎県 長崎県立島原農業高等学校 食品加工部
長崎県 長崎県立諫早農業高等学校 食品科学部
熊本県 熊本県立玉名工業高等学校 JRC 部
熊本県 熊本県立熊本商業高校女子部 JRC 部
熊本県 熊本県立熊本農業高等学校 バイオ研究会
熊本県 熊本県立鹿島中央高等学校 草原再生プロジェクト班
大分県 大分県立国東高等学校 JRC 部
大分県 大分県立臼杵高等学校 ユネスコ部
大分県 大分県立大分商業高等学校 インターアクトクラブ
宮崎県 宮崎県立宮崎商業高等学校 ボランティア部
鹿児島県 鹿児島県立鹿屋高等学校 インターアクトクラブ
鹿児島県 鹿児島県立野田女子高等学校 ボランティア部
鹿児島県 鹿児島県純心女子高等学校 純心ボランティア部
沖縄県 沖縄県立宜野座高等学校 ボランティア部
沖縄県 沖縄県立中部農林高等学校 エコ・リサーチ部、熱帯資源科 動物コース/ PSP 環境土木チーム

風に立つライオン基金とは

基金が取り組む3つのテーマ



顕彰・助成事業

国内外において「いのち」や「平和」を守るために奉仕・慈善活動を実践している個人、団体を対象とする経済的な支援活動。

これまでの活動実績の一例

顕彰事業		支援・助成事業	
支援年月日	講演・イベント等名称	開催地	支援先名称
2016/08/15・16	高校生ボランティア・アワード2016	國學院大學	ハウスオブジョイ
2017/08/09・10	高校生ボランティア・アワード2017	さいたまスーパーアリーナ	シロアムの園
2018/08/21・22	高校生ボランティア・アワード2018	東京国際フォーラム・ホールE	ロジナンテス
2019/07/29・30	高校生ボランティア・アワード2019	パシフィコ横浜 展示ホール	ザンビアの辺地医療を支援する会
			特定 NPO 法人 TIC0
			支援金額
			1,000,000 円
			1,000,000 円
			2,000,000 円
			1,500,000 円
			1,000,000 円

※その他、支援イベント・募金等実績多数

被災地支援活動

支援年月日	届け先	支援金額等	備考	災害名称
2015/10/11	茨城県常総市	1,000,000 円	支援コンサート	関東・東北豪雨
2016/04/23	熊本県西原村 / 益城町	各 230,000 円相当	カステラ、どら焼き 他	平成 28 年熊本地震
2016/05/09	大分県竹田市 / 由布市	1,000,000 円 / 3,000,000 円	カステラ	平成 28 年熊本地震
2016/06/17	熊本県阿蘇村	5,000,000 円	支援コンサート	平成 28 年熊本地震
2016/10/29	北海道南幌長野町	1,000,000 円	支援コンサート	平成 28 年台風 10 号災害
2016/11/04	石川県岩井町 / 野田畑村 / 久慈市	各 1,000,000 円	支援コンサート	平成 28 年台風 10 号災害
2016/11/26	鳥取県吉吉市	500,000 円	支援コンサート	平成 28 年鳥取県中部地震
2016/11/26	鳥取県湯梨浜町 / 北栄町	各 150,000 円	支援コンサート	平成 28 年鳥取県中部地震
2017/1/26	鳥取県琴浦町 / 三朝町	各 100,000 円	支援コンサート	平成 28 年鳥取県中部地震
2017/08/19	福岡県朝倉市 / 東峰村 / 大分県日田市	各 1,000,000 円	支援コンサート	平成 29 年 7 月九州北部豪雨
2017/09/14	BOND & JUSTICE ※	400,000 円	NPO 法人活動支援金	平成 29 年 7 月九州北部豪雨
2017/09/15	熊本県西原村	312,000 円	被災者をコンサートに招待、貸切バス代金として	平成 29 年 7 月九州北部豪雨
2018/08/25	愛媛県大洲市 / 西予市 / 宇和島市	各 1,000,000 円	ガードロップ (浅田鮎)、カステラ、タオル等	平成 30 年 7 月豪雨
2018/08/06	岡山県総社市	1,000,000 円	ガードロップ (浅田鮎)、タオル等	平成 30 年 7 月豪雨
2018/08/09	岡山県真庭市 / 広島県三原市 / 坂町	各 1,000,000 円	ガードロップ (浅田鮎)、タオル等	平成 30 年 7 月豪雨
2018/09/13	北海道厚真町 / むかわ町 / 安平町		ガードロップ (浅田鮎)、タオル等	平成 30 年 9 月北海道胆振東部地震
2019/09/04	BOND & JUSTICE	500,000 円	NPO 法人活動支援金	令和 元 年 8 月九州北部豪雨

※「BOND & JUSTICE」は宮城県内のボランティアグループ。彼らが行った避難所での炊き出しなどを金銭面でサポートさせていただきました。

講演・イベント

開催年月日	講演・イベント名称等	開催地
2016/02/26	2016/02/26 「さだまさし 桂文枝 二人会」	アルファあなぶきホール (高松)
2016/04/14	第 75 回日本医学放射線学会総会	横浜ベイホテル東急
2016/07/14	第 71 回日本消化器外科学会総会	あなぶきホール (徳島市)
2016/08/01	さだまさしチャリティーコンサート at 東京国際フォーラム	東京国際フォーラム・ホール A
2016/09/29	第 52 回 日本移植学会特別セッション	グランドプリンスホテル新高輪
2017/02/13	第 22 回 日本集団災害医学会総会	名古屋国際会議場センチュリーホール
2017/02/23	チャリティーイベント「さだまさし 大沢たかお 二人会」	レグナムホール (高松)
2017/08/10	2017 さだまさしチャリティーコンサート at さいたまスーパーアリーナ	さいたまスーパーアリーナ
2017/09/15	國學院大學創立 135 周年記念事業熊本災害復興祈念コンサート	熊本県立劇場コンサートホール
2018/03/13	鎌田眞彌講演会「健康で幸せ生き方〜がんはならない〜」	朝倉市総合市民センター
2018/08/22	2018 さだまさしチャリティーコンサート	東京国際フォーラム・ホール A
2018/09/23	さだまさし&鎌田眞弥チャリティーイベント	岡山県総社市・総社中学校体育館
2018/10/21	小屋浦地味復興祭	広島県長門町・小屋浦小学校体育館
2019/07/30	さだまさしチャリティーコンサート 2019	パシフィコ横浜 国立大ホール

基金へのご支援

本基金は、趣意にご賛同いただける個人・法人からの寄附を広く募集しております。寄附をご希望の方は、下記の本基金「寄附受付専用口座」へお振込みいただきました。皆様からの暖かいご支援をお待ちしております。

クレジットカードによる寄付	毎月1,000円／毎月3,000円／毎月5,000円
クレジットカードによる寄付	毎月1,000円／毎月3,000円／毎月5,000円

各銀行へのお振込み			
銀行名	銀行名	銀行名	りそな銀行
支店名	新住友銀行(銀行コード 0001)	三菱 UFJ 銀行(銀行コード 0005)	三井住友銀行(銀行コード 0010)
預金種類	赤坂支店(支店番号 066)	赤坂支店(支店番号 609)	赤坂支店(支店番号 825)
口座番号	普通預金	普通預金	普通預金
	4117428	0219091	9204780
他行からゆうちょ銀行へのお振込み	ゆうちょ銀行からのお振替え	各お振込み共通	
銀行名	ゆうちょ銀行	口座名称(漢字) 公益財団法人 風に立つライオン基金	
支店名(店番)	〇ー九(ゼロイチキュー)店(O19)	口座名称(カナ) ザイ)カゼニタツライオンキキン	
預金種目	当座	口座 記号番号 00100-6-602471	
口座番号	0602471		

風に立つライオン基金への寄附は税の優遇措置(減税)の対象です。

寄付金控除を受けるためには、確定申告の際に、風にとつライオン基金発行の領収書が必要です。
ホームページ 基金へのご支援内「領収書発行フォーム」に必要事項をご入力下さい。
くわしくはホームページをご覧ください。



チャリティコンサート等イベント事業

心に痛手を負った被災地の人々を慰問する為のコンサートやシンポジウムを開催する。大組織では目の届かない場所への細やかな心的援助。